

4 歩行者専用道路

空間形成のねらい

地域に根付いた通りの雰囲気を活かしながら、統一感のあるまちなみを創出し、民地からの滲み出しや公共空間への適切な滞留施設の設置によって、ゆっくりとした回遊行動や来訪者・商店者を含めた盛んな交流を生み出す空間とします。

A-1

地先を活用して商品やサービス等を提供し、沿道のにぎわいを演出する。

S-3

地先の商品の溢れ出しや看板等を整序し、まとまりのある通りを演出する。

M-2

空き家・空き地などの低未利用地を交流・チャレンジの場として暫定的に活用し、にぎわいを育成する。

A-1

1階部分は、飲食や物販などにぎわいが感じられる用途とする。

S-3

店頭のディスプレイやショーウィンドウの演出などにより、閉店時のまちの景観にも配慮する。

A-2

地先空間にイス・テーブル等の什器を設置し、ちょっとした休憩が可能な滞留空間を設ける。

M-1

公共空間を活用し、出店や客席利用など、民間活動を展開する。

M-1

適切に利活用範囲の整理・清掃を行い、まちなみ景観を阻害しないよう配慮する。

A-1

1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、ガラス等の透過性のある素材を用いる。

地先空間等の有効活用によって、来訪者をより惹きつける工夫が求められる。

BEFORE

アイディアリスト

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Activity	A-1	グランドレベルにおける 民地からの滲み出し	1階部分は、飲食や物販など、にぎわいが感じられる用途とする。	民
			1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、ガラス等の透過性のある素材を用いる。	民
			地先を活用して商品やサービス等を提供し、沿道のにぎわいを演出する。	民
	A-2	地先空間を活用した、 小さい滞留空間づくり	地先空間にイス・テーブル等の什器を設置し、ちょっとした休憩が可能な滞留空間を設ける。	民
			店舗の地先空間を客席の一部として利用し、にぎわいを店舗内外で連続させる。	民
	A-3	まちの資産となる 使い勝手の良い オープンスペース	建物のデザインの工夫やアイストップとなる樹木・小広場の設置等により、歩行者のたまりとなる特徴的な街角をつくる。	公/民
			空間を使いこなすための什器やそれを保管するための場所を用意する。	公/民
			空間の利活用に必要なインフラ（電気・水道・排水等）を整備し、使い勝手の良い空間とする。	公/民

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Management	M-1	民間事業者等による 積極的な 公共空間の利活用	公共空間を活用し、出店や客席利用など、民間活動を展開する。	公/民
			適切に利活用範囲の整理・清掃を行い、まちなみ景観を阻害しないよう配慮する。	公/民
	M-2	にぎわいや安らぎを 生み出す、 民間敷地の有効活用	敷地を共同化し、土地の合理的な利用を促進する。	民
			空き家・空き地などの低未利用地を交流・チャレンジの場として暫定的に活用し、にぎわいを育成する。	民
			駐車場の通りに面する部分は、まちに開けたスペースとして利活用し、まちなみを連続させる。	民
	M-3	民間敷地と公共空間の 一体的更新	建物の壁面後退等による空間を街路・広場と一体となったパブリック空間として活用し、にぎわいを創出する。	民

公：公共
民：民間事業者
住：住民

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Street	S-1	歩きやすく、 分かりやすい、 安心安全な歩行者空間	民間敷地内部からの灯りによって公共空間を照らし、夜間でも安心して歩ける空間を確保する。	民
			通りの始まりとなる箇所の舗装やサイン等は、まちの入口であることが視覚的にわかるようなデザインとする。	公/民
	S-2	環境にやさしく、 自然を感じる快適な空間	屋外で使用する什器等には、緑と調和する木材など、温かみを感じる材質のものを用いる。	公/民
			民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターなどにより、まちの緑を補完する。	民/住
	S-3	沼津らしさを感じる 品格のある まちなみデザイン	建物外観は、突出した華美なものは避け、周辺環境と調和した、低彩度の落ち着いたデザインとする。	民
			ショーウィンドウや庇、照明、看板、屋外什器等はエリアでの統一感や連続性に配慮し、トータルで演出する。	民
			店頭ディスプレイやショーウィンドウの演出などにより、閉店時のまちの景観にも配慮する。	民
			案内・誘導や店舗のサイン等は、周辺の景観に配慮した統一感のあるデザインとする。	公/民
			地先の商品の溢れ出しや看板等を整序し、まとまりのある通りを演出する。	民
立て看板は周辺環境と調和したデザインとする。	民			

5 生活道路 A

空間形成のねらい

民地において適度な緑や滞留施設を含むオープンスペースを設けることで、周辺住民等の生活環境の向上や交流の場の創出による地域コミュニティの醸成に寄与する空間とします。

M-2

民地内の余白を活用し、滞留施設や緑を配置し、まちに開けた周辺住民等の交流の場を創出する。

S-1

民間敷地内部からの灯りによって公共空間を照らし、夜間でも安心して歩ける空間を確保する。

S-3

道路に面する長大な壁面は、歩行者に圧迫感を与えないよう単調なデザインを避ける。

S-2

民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターなどにより、まちの緑を補完する。

A-1

1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、ガラス等の透過性のある素材を用いる。

M-2

駐車マスの効率配置などによって生まれる余剰地を沿道に設け、休憩施設等を設置する。

S-3

平面駐車場は無機質な舗装は避け、市街地環境に馴染む設えとする。

M-2

連続する駐車場を集約・再編し、主な回遊動線となる通り沿いの出入口の数を削減する。

M-2

通りに面した民地の一部を民間活動の場として提供し、交流のきっかけをつくる。

通り沿いのスペースが、居住者等を意識した使い方となっていない。

BEFORE

アイデアリスト

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Activity	A-1	グランドレベルにおける 民地からの滲み出し	1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、ガラス等の透過性のある素材を用いる。	民
			主な回遊動線となる通りの1階部分は、飲食や物販など、にぎわいが感じられる用途とする。	民
	A-2	地先空間を活用した、 小さい滞留空間づくり	地先空間にイス・テーブル等の什器を設置し、ちょっとした休憩が可能な滞留空間を設ける。	民
	A-3	まちの資産となる 使い勝手の良い オープンスペース	建物のデザインの工夫やアイストップとなる樹木・小広場の設置等により、歩行者のたまりとなる特徴的な街角をつくる。	公/民

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Street	S-1	歩きやすく、 分かりやすい、 安心安全な歩行者空間	主な回遊動線となる通りでは、段差や切り下げをなくし、車イスやベビーカー等でも移動しやすいように配慮する。	公
			民間敷地内部からの灯りによって公共空間を照らし、夜間でも安心して歩ける空間を確保する。	民
			歩行空間と自動車走行空間を分離し、歩行者の安全性を高める。	公
	S-2	環境にやさしく、 自然を感じる快適な空間	民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターなどにより、まちの緑を補完する。	民/住
	S-3	沼津らしさを感じる 品格のある まちなみデザイン	建物外観は、突出した華美なものは避け、周辺環境と調和した、低彩度の落ち着いたデザインとする。	民/住
			道路に面する長大な壁面は、歩行者に圧迫感を与えないよう単調なデザインを避ける。	民/住
平面駐車場は無機質な舗装は避け、市街地環境に馴染む設えとする。			民/住	
		建物に付随する駐車場や無機質な設備等は通りに面した位置に配置しない。	民/住	

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Management	M-1	民間事業者等による 積極的な 公共空間の利活用	—	—
	M-2	にぎわいや安らぎを 生み出す、 民間敷地の有効活用	空き家・空き地などの低未利用地を交流・チャレンジの場として暫定的に活用し、にぎわいを育成する。	民/住
			通りに面した民地の一部を民間活動の場として提供し、交流のきっかけをつくる。	民/住
民地内の余白を活用し、滞留施設や緑を配置し、まちに開けた周辺住民等の交流の場を創出する。			民/住	
連続する駐車場を集約・再編し、主な回遊動線となる通り沿いの出入口の数を削減する。			民/住	
			駐車マスの効率配置などによって生まれる余剰地を沿道に設け、休憩施設等を設置する。	民/住
M-3	民間敷地と公共空間の 一体的更新	建物の壁面後退等により、街路と一体となったゆとりある豊かな歩行者空間をつくる。	民	

公：公共
民：民間事業者
住：住民

6 生活道路 B

空間形成のねらい

民地側の設えや公共空間の歩車共存の取組などによって、通りの閉塞感を防ぎ、歩行者が自動車と共存しながらも、安心してゆったりと移動できる空間とします。

S-2

民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターなどにより、まちの緑を補完する。

S-3

通りに閉塞感を与えないよう、通りに面する外壁には、適度に開口部を設ける。

S-1

民間敷地内部からの灯りによって公共空間を照らし、夜間でも安心して歩ける空間を確保する。

S-1

主な回遊動線となる通りでは、歩車道境界の段差を設けず、空間の連続性と歩きやすさを確保する。

S-3

平面駐車場は無機質な舗装は避け、市街地環境に馴染む設えとする。

M-2

連続する駐車場を集約・再編し、主な回遊動線となる通り沿いの出入口の数を削減する。

M-2

駐車マスの効率配置などによって生まれる余剰地を沿道に設け、休憩施設等を設置する。

M-2

通りに面した民地の一部を民間活動の場として提供し、交流のきっかけをつくる。



歩行スペースが狭く、建物の壁が立ち並ぶことで、通りを歩く際に暗い印象を受ける。

BEFORE

アイデアリスト

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Activity	A-1	グラウンドレベルにおける 民地からの滲み出し	1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、 ガラス等の透過性のある素材を用いる。	民
			主な回遊動線となる通りの1階部分は、飲食や物販など、に ぎわいを感じられる用途とする。	民
	A-2	地先空間を活用した、 小さい滞留空間づくり	地先空間にイス・テーブル等の什器を設置し、ちょっとした 休憩が可能な滞留空間を設ける。	民
	A-3	まちの資産となる 使い勝手の良い オープンスペース	建物のデザインの工夫やアイストップとなる樹木・小広場の 設置等により、歩行者のたまりとなる特徴的な街角をつくる。	公/民

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Street	S-1	歩きやすく、 分かりやすい、 安心安全な歩行者空間	主な回遊動線となる通りでは、歩車道境界の段差を設けず、 空間の連続性と歩きやすさを確保する。	公
			主な回遊動線となる通りでは、舗装の工夫等により自動車 の走行速度を抑制し、歩行者の安全性を高める。	公
			民間敷地内部からの灯りによって公共空間を照らし、夜間 でも安心して歩ける空間を確保する。	民
	S-2	環境にやさしく、 自然を感じる快適な空間	民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターな どにより、まちの緑を補完する。	民/住
	S-3	沼津らしさを感じる 品格のある まちなみデザイン	建物外観は、突出した華美なもの避け、周辺環境と調和 した、低彩度の落ち着いたデザインとする。	民/住
			通りに閉塞感を与えないよう、通りに面する外壁には、適度 に開口部を設ける。	民/住
道路に面する長大な壁面は、歩行者に圧迫感を与えないよ う単調なデザインを避ける。			民/住	
平面駐車場は無機質な舗装は避け、市街地環境に馴染む 設えとする。			民/住	
		建物に付随する駐車場や無機質な設備等は通りに面した位 置に配置しない。	民/住	

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Management	M-1	民間事業者等による 積極的な 公共空間の利活用	—	—
	M-2	にぎわいや安らぎを 生み出す、 民間敷地の有効活用	空き家・空き地などの低未利用地を交流・チャレンジの場と して暫定的に活用し、にぎわいを育成する。	民/住
			通りに面した民地の一部を民間活動の場として提供し、交 流のきっかけをつくる。	民/住
民地内の余白を活用し、滞留施設や緑を配置し、まちに開 けた周辺住民等の交流の場を創出する。			民/住	
連続する駐車場を集約・再編し、主な回遊動線となる通り 沿いの出入口の数を削減する。			民/住	
		駐車マスの効率配置などによって生まれる余剰地を沿道に 設け、休憩施設等を設置する。	民/住	
M-3	民間敷地と公共空間の 一体的更新	建物の壁面後退等により、街路と一体となったゆとりある豊 かな歩行者空間をつくる。	民	

公：公共
民：民間事業者
住：住民

7 駅まち環状

空間形成のねらい

自動車・自転車・歩行者などの多様な手段による交通を受け持ちながらも、沿道の建物や公共空間の設えから、まちの入口であることを感じさせる空間とします。

M-2

駐車マスの効率配置などによって生まれる余剰地を沿道に設け、休憩施設等を設置する。

A-3

建物のデザインの工夫やアイストップとなる樹木・小広場の設置等により、歩行者のたまりとなる特徴的な街角をつくる。

S-2

高木植栽や芝生等によって、緑豊かな歩行・滞在環境をつくる。

A-1

1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、ガラス等の透過性のある素材を用いる。

S-3

建物外観は、突出した華美なもの避け、周辺環境と調和した、低彩度の落ち着いたデザインとする。

S-2

民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターなどにより、まちの緑を補完する。

沿道の景色から、まちの雰囲気伝わりにくい。

BEFORE

アイデアリスト

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Activity	A-1	グランドレベルにおける 民地からの滲み出し	1階部分は、飲食や物販など、にぎわいが感じられる用途とする。	民
			1階部分は、開口部を大きくとり、内部の様子がわかるような、ガラス等の透過性のある素材を用いる。	民
	A-2	地先空間を活用した、 小さい滞留空間づくり	地先空間にイス・テーブル等の什器を設置し、ちょっとした休憩が可能な滞留空間を設ける。	民
	A-3	まちの資産となる 使い勝手の良い オープンスペース	建物のデザインの工夫やアイストップとなる樹木・小広場の設置等により、歩行者のたまりとなる特徴的な街角をつくる。	公 / 民

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Management	M-1	民間事業者等による 積極的な 公共空間の利活用	—	—
	M-2	にぎわいや安らぎを 生み出す 民間敷地の有効活用	通りに面した民地の一部を民間活動の場として提供し、交流のきっかけをつくる。	民 / 住
			駐車マスの効率配置などによって生まれる余剰地を沿道に設け、休憩施設等を設置する。	民 / 住
M-3	民間敷地と公共空間の 一体的更新	建物の壁面後退等により、街路と一体となったゆとりある豊かな歩行者空間をつくる。	民	

公：公共
民：民間事業者
住：住民

		空間形成方針	アイデア	取組主体
Street	S-1	歩きやすく、 分かりやすい、 安心安全な歩行者空間	歩道の段差や切り下げをなくし、車イスやベビーカー等でも移動しやすいように配慮する。	公
			民間敷地内部からの灯りや、街路灯などで公共空間を照らし、夜間や有事でも安心して歩ける空間を確保する。	公 / 民
			歩行空間と自転車走行空間を分離し、歩行者の安全性を高める。	公
	S-2	環境にやさしく、 自然を感じる快適な空間	高木植栽や芝生等によって、緑豊かな歩行・滞在環境をつくる。	公
			透水性機能や保水・遮熱機能、騒音・排気等の吸収機能など、環境に配慮した舗装とする。	公
			民地における壁面緑化や敷地境界部の植栽・プランターなどにより、まちの緑を補完する。	民 / 住
S-3	沼津らしさを感じる 品格のある まちなみデザイン	建物外観は、突出した華美なものは避け、周辺環境と調和した、低彩度の落ち着いたデザインとする。	民	
		平面駐車場は無機質な舗装は避け、市街地環境に馴染む設えとする。	民 / 住	
		建物に付随する駐車場や無機質な設備等は通りに面した位置に配置しない。	民 / 住	

